

2 学期人権学習実施案

令和元年 10 月 21 日
人権・同和教育係

1. 目的

1 学期の人権学習の学びを生かしながら、現在の生徒の課題に即した人権学習を展開することで、仲間づくりや進路保障に深化させる。

2. 日時・場所

令和元年 11 月 11 日(月) 各学年 2 時間。多目的ホール及び、各クラス教室。

1 年：1,2 校時，2 年：3,4 校時，3 年：5,6 校時 ※講師の都合により，変更もあり。

3. 学年別テーマ

1 年・・・「女らしさ」「男らしさ」に縛られない生き方について考える。

2 年・・・2 年生では、多様な文化を認めあう社会のあり方について考えさせる。

3 年・・・中世における差別の起こりの学習を通して、今の自分の課題を見つめ直す。

4. 指導内容

(1) 1 年生指導内容 (例) (1, 2) 校時

過程	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 点
導入	・総合的な学習の時間における人権学習の在り方を理解する。 ・周囲の期待する自分の姿と、自分自身の違いに悩むことはないかを振り返る。	5 分	・3 年間にわたってより深く勉強する内容の一つであることを伝える。
展開	<p>事前に「女らしさ」「男らしさ」に関する意識調査をし、その結果を集計しておく。</p> <p>(1) 事前に行った意識調査の結果を見せる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 「女らしい」と感じる時 ● 「男らしい」と感じる時 ● 「女のくせに」と感じる時 ● 「男のくせに」と感じる時 </p> <p>(2) 意識調査の結果を踏まえて、ビデオを見る。 ビデオ視聴 「ようこそ先輩～女らしさ，男らしさってなに」 (NHK 総合テレビ番組。法政大学教授 田嶋陽子氏 出演)</p> <p>(3) ビデオを見た後に、もう一度あらためて調査結果を見る。</p> <p>(4) 意識調査の結果のような考え方の存在が、自分や他人を苦しめていないかを考える。意識調査の結果を見る。 <ul style="list-style-type: none"> ● 女子が「女って損」と思う時 ● 男子が「男って損」と思う時 「女だからこうするべき」「男だからこうするべき」と態度や行動，考え方を決めることで、苦しんだり，能力が発揮できなかったりすることがあるか。</p> <p>(5) ビデオの内容を振り返りながら，どのような考え方をすれば(4)のように苦しむ必要がなくなるかを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ● 「女だからこうするべき」「男だからこうするべき」と態度や行動，考え方を決めるのではなく，一人一人の「その人らしさ」を大切にすべきである。 </p> <p>(6) 女性を取り巻く社会全体の問題についても触れる。</p>	<p>15 分</p> <p>60 分</p> <p>70 分</p>	<p>男女とも、意識調査の結果について不満の声があることが予想されるが、その反応を大切にす。</p> <p>(1) では「笑い」が出ることは問題視しない。</p> <p>(1) で見た時とは異なる雰囲気があればそれを大切にする。</p> <p>生活の中で起こる具体例を示すことで、より理解しやすいようにする。</p> <p>この学習の前に、学級内に身体の性と心の性の違和感に悩んでいる生徒はいないかを検証する。いれば、その生徒の状況に応じて授業の展開に配慮を加えたり，場合によっては実施の見送りも含めた検討を行う。</p>
終末	2 時間の授業(ビデオ視聴も含む)を通して感じたことを作文に書かせる。	100 分	自身を振り返り，実践的な態度について思いを巡らせるよう配慮する。
評価	<p>・社会通念の「女らしさ」「男らしさ」に縛られていた自分自身に気付くことができたか。</p> <p>・「女だから／男だから」を行動の基準にするのではなく、「その人らしさ」が大切であると理解できたか。</p> <p>・この授業での「学び」を日々の生活に生かす具体的な方向性を見出すことができたか。</p>		

(2) 2年生指導内容(例) (3, 4)校時 ※朝鮮出身者の場合

過程	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外に目を向け、様々な民族や文化を持つ人々がいることを、社会や英語の授業を振り返りあらためて思い起こす。 ・そのような異なる民族や文化を持つ人どうしが、どのように付き合っていくことがよいか考えるよう問題提起する。 	5分	<p>昨年の人権学習の歩みを振り返らせ、今年は様々な民族や文化を持つ人々がともに生きる社会について学ぶことを伝える。</p>
展開	<p>(1) ()さんとの出会い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ()さん個人のこれまでの活躍、夢 ・現在の朝鮮半島の様子。人々の思い。特に、日本に対するコリアンの方々の感情。思い。特に、若者たちの思い。 ・これからのコリア(南北とも)と日本の未来に期待することなど。 <p>(2) ()さんとの対話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ()さんに質問をしたり、李さんからの質問に答える。 	70分	<ul style="list-style-type: none"> ・ チマ チョゴリを着ていただくよう要請中。また、朝鮮の楽器や民芸品などがあれば持ってきていただくようお願いもしてある。 ・ あらかじめ質問を考えさせておくとよい。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスへ戻り、担任(または副担)がそのクラスの課題や、気になる生徒への励ましや課題と結びつけて総括する。 ・「出会い」の授業を通して学んだことから、自分や学級、学校の課題と結びつけた感想を書かせる。 	100分	<ul style="list-style-type: none"> ・「…な社会なればいいなあと思います」的な他人事ではなく、自分の課題と結びつけた「綴り」を引き出したい。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる民族の「人」や異なる「文化」との出会いに、興味を持って臨むことができたか。 ・異なる民族の「人」や異なる「文化」を「同化」させるのではなく、たがいに尊重し、ともに生きることこそが「豊かな社会」のあり方であるということが理解できたか。 ・この授業での「学び」を日々の生活に生かす具体的な方向性を見出すことができたか。 		

(3) 3年生指導内容(例)

(5, 6)校時

過程	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 点
導入	<ul style="list-style-type: none"> 1学期に学習した「洪染一揆」を振り返り、近世において存在した差別を回想する。 1学期の学習後、多くの生徒から「一般農民と『河田百姓』は何が違うのか」という疑問が寄せられたことを紹介する。 	15分	<p>これまでの人権学習の歩を振り返らせ、今年ではそれらを総括し、卒業後も生活の中にその学びを生かしていける様にする。</p>
展開	<p>(1) (ワークシートを配布)</p> <p>1学期に学習した「部落差別」につながる差別の起こりが、さらに遡って室町時代や平安時代にあり、今日はそれを映画「もののけ姫」を通して学習することを伝える。</p> <p>ワークシートに従い、部分的に映画を視聴しては設問を提示し、それに考えを記入していくという作業を続ける。</p> <p>① アシタカはなぜ村を救ったのに追放されたのか。 ② 「たたら場」にはどのような人々がいたか ③ なぜ「ジゴ坊」は自分の手を汚さないのか。 ④ これらのことから中世の日本人がどういう考え方をしていたかを考える。</p> <p>(2)</p> <p>科学や医学が発達していない中世では、人々は次のような理由で特定の人々を差別していたことを学ぶ。</p> <p>① 自然に手を加え自然の姿を変える技術を持った人 ② 生きものの生死にかかわる仕事をしている人 ③ 「ケガレ」を「キヨメ」る技術を持っている人々 ④ 一般の人にはない優れた職能を持った人々 *これらの差別観を江戸幕府は人々の支配に利用した。</p> <p>(3)</p> <p>これら中世の人々の差別観と今の自分たちの心の中にある感覚との共通点について考える。例として・・・授業中に際立って優れた頑張りをする人を特別な目で見たり、自分がそなりたくない気持ちがないか。</p> <p>その視点で自分の問題と重ね合わせてこの後の感想文を書くよう指示する。</p>	35分 50分 65分	<ul style="list-style-type: none"> 近世の身分制度をかつてのようにな士→農→工→商→「別の身分」的な解釈は絶対にしないこと。指導の上でもそのような感覚にならないよう留意すべきである。 教材の映画の面白さに関心が傾き過ぎないように、注意して話題をコントロールする。 ワークシートを用いた学習時には、様々な回答が予想されるが、生徒たちの自由な発想を大切に。後述する「正答」を導く生徒もいる可能性がある。できるだけ多くの生徒の考えを把握する。
終末	2時間の授業を通して感じたことを作文に書く。		史実の感想だけではなく、現在の自分の課題と結び付けて考えさせたい。
評価	<ul style="list-style-type: none"> 被差別の立場におかれた人々の心の温かさ、力強さ、行動力などを理解できたか。 歴史を知る上で、権力者の立場からではなく、大多数の民衆の立場から見ることの意義を理解できたか。 人権学習に興味を持ち、学習した内容を自分の生き方に生かそうとする態度が養われたか。 		